

特集

権利擁護



よめばやさしくなるしゃきょうのこうほうし **福祉くまの** NO.73

平成 29 年 11 月 2 日発行

熊野市社会福祉協議会の事業には、赤い羽根共同募金配分金を活用させていただいております。

特集

権利擁護

人間が、人間らしく生活するために、生まれた時から持っている権利が、基本的な権利です。そしてこの権利は、侵すことのできない永久の権利として、日本国憲法で保障されています。今回は特に、社会的に弱い立場の人たちの「権利」を守るためにどうすればよいのか、福祉の観点から一緒に考えていただけるとありがたいと思います。

権利擁護とは

人が生まれながらに持っているものが「人権」です。すべての人に等しく保障されている人権ですが、高齢や障がい等で判断力が低下し、意思表示が難しくなると、人が持つ当たり前の権利が侵害される場合があります。

消費者被害や虐待（①身体的②経済的③介護や世話の放棄④性的⑤心理的）等、様々な権利侵害がありますが、権利擁護とは、人としての尊厳を守り、安心した暮らしにつなげる考えをいいます。

具体的な相談内容

「権利を守る」とひとことで言っても、その問題の種類も多岐にわたります。その中で、福祉専門職に対して相談が多いものには、「福祉サービスの利用手続きに関すること」、「各種公共手続きに関すること（自分自身では難しい）」、「日常の金銭管理に関すること（預金の管理や支払等）」、「悪質な商品売買に関すること（経済的に高いリスクを負う等）」などが挙げられます。

熊野市社協として

権利擁護に関する施策は様々にありますが、成年後見制度や日常生活自立支援事業（以前は、地域福祉権利擁護事業と呼ばれていました）といった名称を一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。熊野市社会福祉協議会では、権利擁護事業の一環として「日常生活自立支援事業」を三重県社会福祉協議会より事業受託し、実施しています。

内閣府が実施した「人権擁護に関する世論調査」によると、高齢者に関してどのような人権問題があるか聞くと「悪質商法の被害が多い」「働く能力を發揮する機会が少ない」「邪魔者扱いされ、つまはじきにされる」などが挙げられており、様々な場面で生じていることがうかがえます。（政府広報オンラインより）





権利を守るための施策

日常生活自立支援事業

認知症や知的障がい、精神障がい等によって判断能力が不十分で、それが故に「福祉サービスの利用手続きがわからない」「各種手続きが難しい」「日常の金銭管理ができない」などの困りごとに対し、その利用手続き、代行、金銭管理、その他のお手伝いを行います。

紀南日常生活自立支援センター（地域福祉課内）に専門員を配置しておりますので、ご自身が不安になった時、また、お知り合いでこのような困りごとを抱えている方がいらっしゃいましたら遠慮なくご相談下さい。

紀南日常生活自立支援センター

0597-89-1132



成年後見制度

認知症、知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が十分ではない方について、本人の権利を守る援助者（成年後見人等）が法律行為（金銭管理及び身上監護）を支援する制度です。



権利を意識する社会に

権利は目に見えるものでもなければ、普段あまり意識するものでもありません。そのため、気がつけば自分の権利が侵害されている、また逆に、誰かの権利を無意識に侵害しているかもしれない。しかし、だからこそ、弱い立場の人たちの当然の権利というものに、私たちはしっかりと目を向けなければなりません。

更にいえば、権利を擁護しようとするあまり、逆にその人の自由という権利を侵害するような社会にならないように、本質を見誤ることなく、権利というものを考え続けていく必要があると思います。



ちょっとお知らせ

みんなのマルシェ開催中

紀北・紀南地域の障がい福祉事業所が集まって、10月21日（土）に御浜町のピネで「みんなのマルシェ」を開催しました。

福祉事業所の頑張りをPRしようと自主販売や作品展示などの活動を中心に着々と回数を重ね、今回で第13回目を迎えています。社協のあゆみ事業所もばっちり参加してきました！

2カ月に1回、紀南・紀北地域で交互に開催していますので、お近くまでお越しの際はぜひお立ち寄りください!!



みんな
いっしょに
大きくな~れ!

いな



ボランティアセンター
イメージキャラクター
いな

熊野市ボランティアセンター
登録ボランティア数
団体：34 個人：5名
合計：1,637名
平成 29年 9月 30日現在

自分よし、社会よし

今回ご紹介するボランティア団体は・・・

ボランティアグループ「くまの」さん

くまの花いっぱいネットワークの金山町のアグリス
で種まきから始めた花苗を頂いて、会員で中庭等に植
え、美しく育つのを楽しみに作業しています。

代表：峯 一美



終わった後の茶論、こういう
時間が大切です。

チームワーク
よし!



主体的で自発的、ボランティア団体としては
とても成熟した団体です。毎週土日交代で水
やりに来てくれています。花がきれいな熊野市
保健福祉センターですが、このようなボラン
ティアさんに支えられています。

自分も楽しめて、社会に貢献できる・・・
ボランティアっていいものです。

伝える 声の講座

視覚障がいのある人に「福祉くまの」等を読んでいただき、
声を届けるボランティアの養成講座です。人に声を伝える
ことに興味がある人なら誰でも参加してください。

日 時：平成 29年 12月 2日 (土) 10:00 ~ 12:00

場 所：くまのふれあいセンター (裁判所となり)

講 師：ひばり朗読会 志賀智子先生

※講座終了後、希望される場合はボランティア活動することができます。隔月1~2回程度のボランティアです。

「ボランティア」
最近いろいろな場面
で聞かれる言葉です。
今夏、ボランティア
活動をしている若い世
代の人達と「ボランティ
アってなに」というテー
マで話し合いました。
無償であること、自
発的であること、自立
していること、いろい
ろな意見が出ました。
話し合いは今後もゆ
るく発展的に続ける予
定です。
興味のある人は、ご
連絡ください。

熊野市ボランティアセンター
(熊野市社会福祉協議会内)

住 所：熊野市井戸町 1150 番地
担 当：古田 希美
電 話：0597 - 89 - 5000
F A X：0597 - 89 - 3068
メール：k.furuta@k-shakyo.com

寿

ご長寿祈念事業



9月18日(月)、市内在住の95歳(平成29年12月31日現在)の方々55名(うち訪問31名)を対象に、長寿のお祝いと今後ますますの健康増進を祈念して「ご長寿祈念事業」を実施しました。昨年までは高齢者慰問事業として実施していた事業ですが、今年より名称を変えて再スタート。訪問したお宅では、皆さんの元気ハツラツなパワーに圧倒されるばかりでした。長寿の秘訣はそれぞれに異なりますが、共通していることは皆さん温かい人間関係を築かれていること。健康維持には良好な人づきあいも必要なのだと感じました。



百

満百歳記念事業

9月25日(月)に山高ますゑさんをお尋ねし、「満百歳」のご長寿をお祝いさせて頂きました。

とてもお元気でユーモアたっぷり。毎週神川町に息子さんと出かけて畑仕事に精を出されています。温かいご家族に囲まれているから、とても明るくお過ごしでした。山高さん、これからお元気で過ごしてください。



会

老人福祉大会

9月26日(火)、熊野市民会館にて「第6回熊野市老人福祉大会」を開催しました。

この大会では、市内の老人クラブ会員や福祉関係者が一堂に会し、活力のある長寿社会の実現に向け、会員各々が役割を持ち自分らしく活躍できる地域の育成を誓います。大会では、それを目指すための大会宣言(案)が読み上げられ、満場一致で採択されました。

また、会の発展や地域社会に貢献した個人や団体に対して、老人クラブ連合会長から表彰や感謝状の授与も行われました。受章者・団体は以下のとおりです。(敬称略)

熊野市老人クラブ連合会会長表彰 老人クラブ功労者

- | | |
|----------|--------|
| 十日会(新鹿) | 山田 美智子 |
| 永和会(磯崎) | 濱辺 廣道 |
| 喜楽会(井戸) | 片岡 菅 |
| 喜楽会(井戸) | 古味 磨代 |
| 寿会(有馬) | 田中 隆 |
| 寿会(有馬) | 和田 いく子 |
| 宝寿会(久生屋) | 瀬田 眞橘子 |

- | | |
|-----------|--------|
| 百年会(小阪) | 今町 ふさ子 |
| 保色会(日進) | 松尾 晴夫 |
| 喜和クラブ | |
| (板屋) | 大野 幸代 |
| 八幡クラブ | |
| (小栗須) | 中西 元糸 |
| 笑福会(大栗須) | 倉本 宣男 |
| 笑福会(大栗須) | 堀 力 |
| 千枚田彼岸花クラブ | |
| (丸山) | 小西 宏 |
| 優良老人クラブ | |
| 有馬 寿会 | |
| 五郷 五楽会 | |
| 小阪 百年会 | |

熊野市老人クラブ連合会会長感謝 老人クラブ協助者

- | | |
|---------|-------|
| 寿会(有馬) | 蒲谷 紀代 |
| 白寿会(両又) | 更屋 玉江 |



11・12月の 無料法律相談

◇開催日

11月21日(火)
12月19日(火)

◇相談員 片山 眞洋 弁護士
熊野市保健福祉センター

1階 相談室

◇時間 13時から

◇相談内容 民事全般(相続、離婚、雇用、他)

※開催日前日の15時までにご予約ください。

※相談は一人15分程度で予約順です。



みんなであつながら リサイクル 登録制度

ご家庭で使わなくなった介護用品や乳幼児用品、また、「譲って欲しい!」といった品物を登録し、地域でリサイクルしていく制度です。お互いに譲り合う当制度を是非ご利用下さい。

11月15日(水)
締切



ベビーバス
※上部にヒビがあります。

【譲ります】「まだ使えるけど、家ではもつ必要ないし…」このような品物を登録し、希望者に譲ります。なお、登録期間は6カ月で、登録中は希望者が現れるまで、品物をご自宅で保管していただきます。

【譲って下さい】「欲しいけど、新しい物を買うには…」そんな時、当制度に登録することで、希望の品物が提供された時にお譲りすることができます。※登録の有効期間は次回「福祉くまの」発行までです。

担当 地域福祉係 坪田



4名の方が受賞

10月19日(木)、三重県総合文化センター(津市)において、「第66回三重県社会福祉大会」が開催されました。熊野市から2名と2団体が日頃の功績に対する顕彰を受けられました。受賞された皆様方、誠におめでとうございます。

◇三重県社会福祉協議会会長表彰

民生委員児童委員功労表彰

五郷町 徳田 靖児

紀和町 山川 妙子

◇三重県共同募金会会長表彰

有馬婦人会(会長 山崎 晏子)

(株)オークワ有馬店(店長 岸本 昌士)

(敬称略)



ランドセル購入助成

平成30年の春に小学校へ入学される、ひとり親世帯のお子さまのランドセルを購入する費用の一部を今年も助成(1万円上限)します。(赤い羽根共同

募金配分金

近日中に地元新聞や市内保育所等でご案内させて頂きますので、申込み条件等詳細についてご確認ください。(購入したレシートも捨てずに保管ください)

総務課 0597-189-5000



ミニフェスタin両又

「社協ふれあいフェスタ」の地域版として、地区社会福祉協議会との共催で開催します。今回は飛鳥町両又(大又・小又)地区。現在、市社協と地区社協とで楽しい1日になるような企画盛りだくさんです。大勢の方のご来場をお待ちしています。

◆日時 平成29年11月5日(日)

午前9時半〜午後12時半

◆会場 旧飛鳥小学校体育館ほか

(たちばな園あすか様敷地内)



昨年は新鹿地区で開催しました。

熊野市の人口と高齢化率

世帯数	9,051 世帯
人口	17,463 人 (男 8,019 人 / 女 9,444 人)
65歳以上	7,298 人 (男 2,988 人 / 女 4,310 人)
熊野市の高齢化率	41.79% (平成29年10月1日現在)



あとがき

朝晩すっかり冷え込むようになってきました。冬の寒いのにはちょっと嫌ですけど、温かいものが美味しい季節。悪いこともあればその分良いこともある。うまいことなってますね。

(あきひと)

暗号が解読できたら、ハガキに答えを2つ書いて、

〒519-4324

熊野市井戸町1150番地

熊野市社会福祉協議会
福祉くまの係

へ平成29年11月30日(木)までに送ってネ!

正解者の中から抽選で3名にステキなプレゼント!

みんなの挑戦待ってるよ!!

謎を解け!

mission kumapossible



ハロー!クマサン・ハントだよ!

前回の暗号は解けたかな!?

当選者は、久保岡みや子さん、嶋應さん、倭悠大さんだよ!

おめでとう!!それじゃあ今回の暗号だ!

?に入る文字を解読せよ。

問1 MOON FIRE WATER TREE ? SOIL SUN

問2 1 = 1、2 = 2、3 = 3、4 = 5、5 = 4、7 = ?

前回の答え 「2」(縦棒の数)、

「2」(ことわざに含まれる数字の合計 一朝一夕)